



Do you like

some more

ENGLISH?



今回は、学塾生(中1)からの質問「英語で乱暴な言葉とか丁寧な言葉というのはあるのですか？」について考えてみます。彼の質問を説明すると、

日本語だと、自分のことを「わたし・僕・俺・わたくし」、相手のことを「あなた・あんた・君・おまえ」があるのに、英語では、I と you だけですよね。たとえば「おい、おまえ、ここで何やっている!」と言われたら怖いけれど what are you doing here?と言われても全然怖くない。どこで相手が怒っているか、あるいはとても怖い人なのかが分かるですか。

ということでした。なるほど……。そう考えると、日本語は文字にしても発言の雰囲気伝わってきますが、英文の文字だけでは分かりませんね。前回イントネーションの話で少し触れたように、言い方によって、ただの質問か、あるいは詰問か、に分かれるところです。

ではまずは、丁寧な表現について考えていきましょう。



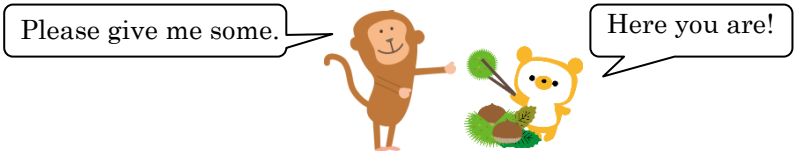
中学校でも習いますが、英語の丁寧な表現はわかりますか？

例えば、何かお願いするとき Would you...?とか？

そうですね。Will you...? / Can you...? の助動詞を過去にすることによって(時間的な距離→関係性の距離)、遠回しに丁寧な表現になります。

でも Please つけば、なんでも丁寧になるんじゃないの？

うーん、確かに please は、日本語で言えば「どうぞ」「どうか」という意味になりますが、必ずしも、すべてを丁寧語や敬語にする“魔法の言葉”ではありません。もともと、please は、省略形ですが、元は何かわかりますか？



please に元の形があるのですか!?

if it please(s) you¹/ may it please you / if you please などです。

Please ちゃんって、本名は長かったんだ！

なんでやねん。

please は、もともとは agree 「賛同する」「納得がいく」の意があるので、元の形は”もしあなたがその行為に対して納得していただければ”というような意味が含まれますが、省略した段階で、すでに完璧な敬語とは言えなくなるのです。基本的に命令形というのは、上から目線になり

¹ 主語が it なので、please に三人称単数の s が付く形と、14 世紀後半に記された慣用句で s なしの形がある。

ますよね。例えば、give me some water（水をくれ）に please をつけたとしても、命令形の印象が強いので、それほど丁寧な感じはしません。ということで、先ほど Please ちゃんが出てくれた、could/would を使った遠回しな表現が、「丁寧語」となります。

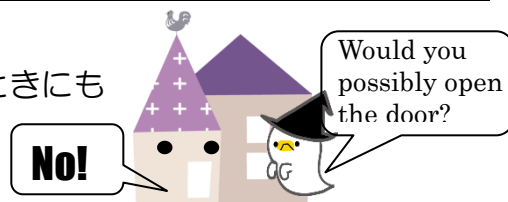
では、次の例文でため口(レベル1)からかなり丁寧な表現(レベル7)まで、見てみましょう。

レベル	英語	日本語（ニュアンス）
1	Open the door.	ドアをあけて。ドアを開けろ。
2	Open the door please.	どうぞドアを開けてちょうだい。
3	Will/Can you open the door?	ドアをあけてくれない？
4	Would / Could you open the door?	ドアを開けていただけますか？
5	Would / Could you possibly (kindly) open the door?	恐れ入りますがドアを開けていただけますか？ kindly(親切にも…)possibly(ひょっとして)
6	Would you mind if you open the door?	ドアを開けていただいてもかまわないでしょうか？
7	Would you mind if I asked you to open the window?	もしドアをあけてほしいとお願いしてあなたは気になさらないでしょうか？

また、遠回しな表現は丁寧であると同時に少し嫌味を含めるときにも使います。宿題をやってこない生徒に先生が、嫌味を含めて

Would you kindly do your homework if you please?

(お気に召せば宿題をやってくれませんかね) というような場合もあります。



お願いするときの will と can, would と could の違いは何ですか？

それほど深く考えないで発言する場合はほとんどですが、あえて違いを言うと、can/could は相手が“出来るかどうか”という可能性、will/would は“相手の意思”というニュアンスが入ります。

丁寧な言葉の反対の乱暴な英語表現ってあるの？

あります。スラング slang と呼ばれる「俗語」は、ため口や親密な関係で使う場合もありますが、乱暴、少し下品な表現にもなります。状況によって無礼にもなるので、英会話の初心者は使い方に注意をしなければいけないでしょう。特に英語でタブー語とされる four letter word は、テレビならば「ピー」と鳴る放送禁止用語と同等の言葉です。「くっそ〜！」とか「チクショー！」など、本来は使わない方がいい言葉ですが、一般的な native の会話、たとえば、ドナルド・トランプ現アメリカ大統領のコメントなどにさえ出てくるので、知識として知っておいた方がいいかもしれませんね。

ただ、私としては、乱暴な言葉よりも丁寧で美しい英語を先に覚えてほしいです。

 はーい！

To be continued...

